

ごみ問題

問 ごみ問題は真実を伝え自己判断を

答 村民に正しい情報で悔いのない判断を



松澤徹男議員

【新ごみ施設の建設問題】

問

新ごみ処理施設の建設にあたり、広域連合と1市2村の関係健全化について、どう考えますか。

村長

ごみ処理問題は白馬だけの問題ではなく、広域連合内で計画が進められております。候補地決定は、客観的に3市村が同意の上で決めております。ごみ処理の広域化は効率化・経済負担軽減面からも進めるべきと考えています。



候補地に係る活断層等確認調査（2月1日）

問

候補地決定が更に延びると、大町市の施設は経年劣化・地元との契約関係で延命できないと聞いておりますが現実はどうなっていますか。

村長

ごみ処理広域化を進めている現状では、期限については確認していません。期限が延びれば維持管理費が増大傾向となり、いつまでも延ばせるとは思っておりません。

問

大町市が新ごみ処理施設を単独で建設する可能性はありますか。

村長

大町市が新ごみ処理計画から離脱すれば、広域化の目的である効率的な処理運営や経費の節減ができなくなり、村財政にも影響がでてきます。

問

ごみの焼却残渣（灰）は、飯山市の業者に依頼し中野市内で処理されますが、ごみ処理広域化施設に1市2村が合意をすれば、大町市の最終処分場で処理ができるのですか。

村長

ごみ処理広域化基本計画の中では、対象区域内で発生するごみは資源化を含め最終の残渣処分まで、区域内において処理することを前提に協議したと聞いています。

【観光局の検証】

問

平成16年に村内観光組織を一元化し、実効性の高い観光局を目指し、3年が経過しております。観光局創設時と現状との差違感はどう感じていますか。

村長

今回調査依頼した、長野経済研究所の調査報告書によると、会員と職員の間連携不足、職務権限と仕事の不透明さ、職員能力の生かし方が不十分な実態、等々の課題があり、今後のステップアップ、集客飛躍に結びつける検討を行い、観光の活性化を図りたいと思います。